

---

F. A. Mc CLURE : Genera of Bamboos Native to the New World (Smithsonian Contributin to Botany No. 9, 1973)

本論文の著者は戦前中国の嶺南大学におり中国の竹を研究し1966年に The Bamboosなる本を著わしている。帰米後は新大陸の竹の研究をやっていたが、その結果を発表したのが本論文である。本論文は148頁で解剖図を含む立派な図が48図あるので新大陸の竹になじみのうすい我々にも一見理解しやすい。本論文によると新大陸の竹の属は14属で内3属は今回新たに発表された新属である。論文中注目に値するものは台湾のニイタカメダケ属 *Yushania* の一種 *Y. aztecorum* Mc CLURE & E. W. SMITH が中米で発見されたことである。近年アジア産のヤツソウ属、イスノキ属などが中米で次々と発見されているが *Yushania* の発見で更に東南アジアと中米のフロラの関係が注目すべきものとなってきた。1961年に前川博士がメキシコ産に基いて発表した新属 *Matsudacalamus* は本論文では *Aulonemia* 属の異名とされている。

【付記】 本論文発表後中米のパナマから竹では珍しい多年生草本の竹の新属新種 *Machuloelyra tecta* C. E. CALDERÓN & T. R. SODERSTROM (Smithsonian Contribution to Botany No. 11, 1973) が発表されている。 (初島住彦)

---

○ 大塔山系の自然 (Ⅳ) B 5, オフセット版, 72頁。1974年3月発行。大塔山系の生物相についての調査研究報告13編を集録している。頒価500円(〒70円)。